

地域と学校の 協働通信

令和6年9月20日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第21号

特集

- モデル校（境南小・第一中）の報告
- むさしの教育フォーラムの詳細・申込受付
- 各学校の協議会から

学校運営協議会機能を有する開かれた学校づくり協議会（モデル校）の報告



第一中学校 第4回協議会

第5回は、10月22日（火）
15時～（予定）

第2回協議会で生徒会代表の生徒と意見交換を経験し、今後も生徒や先生方の声を聞いていきたいということで協議を行いました。グループで協議した内容の共有では、「先生方の忙しさの実状を把握してみては？」「生徒会だけでなく、広くいろいろな生徒、先生方の本音を知りたい」など、学校の主役である生徒や教職員の飾らない声を参考にしつつ「開かれた学校づくり協議会だからできること」を考え進めていきたいという考えが確認できました。

なお、今回から、閉会挨拶前に、地域に関係する委員からの情報提供の時間を取ることとなり、今回は、一中フェスタの担当、PTA会長、副校長からそれぞれ今後の予定等について話がありました。学校や地域の情報共有に有効ですね。

終了後、先生から依頼のあった美術科の学習で使うためのカバーづくりを、残れる委員さんで行いました。



終了後の作業も笑顔が絶えません



境南小学校 第4回協議会

第5回は、10月21日（月）
18時30分～（予定）

第4回は、日中行われた「将来になりたい自分」をテーマとした「地域と6年生の交流会」について、教員公募の教員像、熟議「地域に開かれた学校について」など、盛りだくさんの内容になりました。

「地域と6年生の交流会」に参加した委員からは、子ども達の反応の素直さ、クラスの雰囲気の違い、地域の大人だからこそ話せる良さなどについて感想が聞かれました。

その後、昨年から作成している「境南小版人材バンクリスト」を活用していくにあたり、改めて「地域に開かれた学校」について熟議をしました。「地域とともに歩む学校であるために、子どもの願いと大人の願いのすり合わせが大切ではないか。」「学校が真ん中になると先生がキーになる。先生も地域と繋がる選択肢を増やす。」「施設も含めて学校に価値があるので、地域の方の居場所となるような活用はできないか」「子ども達が地域に発信するイベントがあるといい」など様々な角度からのアイデアが共有されました。



第18回むさしの教育フォーラム

参加申込 受付中！

当日は、武蔵野プレイス
フェスタも開催♪

今年度の「むさしの教育フォーラム」のテーマは、

「あなたも『開かれた学校づくり協議会』のメンバーになれる？

～学校と地域が協力して子どもの学び・育ちを支える環境を目指して～」です。

第一部ではモデル校の実践報告を行い、第二部では協議会委員、学識者、先生によるパネルディスカッションです。参加者の声も伺いながら会場全体で意見交換する予定です。

開催日時 令和6年11月3日（日） 午前11時から午後0時30分

会場 武蔵野プレイス 4階フォーラム

※申込は、右の二次元コードから受け付けています



各学校の「開かれた学校づくり協議会」から



前号に引き続き、各学校の協議会の様子をお伝えします。来年度に向けて、委員の人数や協議会の実施回数を増やすなど、様々な工夫をしています。参考になるところがあれば、取り入れてみてはいかがでしょうか。



第三中学校

第1回目ということもあり、校長先生から学校経営計画について説明があり、どういった三中がいいのかご意見いただきたいとお話がありました。教育理念である「責任ある自由」について、委員からは「おもしろい」という意見がある一方、参加した教員からは「その難しさ」も伝えられ、示唆に富んだ意見交換となりました。



学校では『授業改善』を主題に研究を重ねており、「わくわくする」授業にしたいと、今年度は教科ごとにチームを組んで授業を見たり、考えたり熱心に取り組んでいます。1月の研究発表の他、行事や普段の授業にも委員の皆様にはぜひ来ていただきたいとお話がありました。その他、拠点校方式となる部活動の疑問点や、来年度の協議会についての質疑応答など、活発な協議会となりました。



第五小学校

第2回となる今回は、異年齢集団による交流（たてわり班活動）を参観後の協議会でした。前回の協議「また明日行きたくなる学校」で委員から出た考えを校長先生がまとめて提示し、「『子供が主人公』が大切」と強調するとともに、来年度、第五中での生活となることについて具体的に説明し、「楽しみや期待だけでなく不安な点も協議してほしい。第五中学区の3校の距離が今までになく近付くことをチャンスととらえている」と語りました。その後3グループに分かれて、付箋に意見を書き込んで共有し、質問したり考えを述べたりしていきました。こうした熟議形式の協議に委員さんも慣れてきており、次回以降も続けていくとのことでした。



第六中学校

教務・生活指導・進路指導の各主任の先生方から、学校や生徒の様子について報告され、生徒の主体性を重視した進路情報の提供など、新しい取組も説明されました。前任校で保護者による部活動の見守りがあったという先生からは、第一中学校の実践を受けて、「見守りはありがたかった。期待している」との言葉がありました。

来年度からの活動に向けて、同校では今年度6回の開催を予定しています。委員さんからは、「自分の孫も通う学校という思いで考えていきたい」や「自分たちの地域のことを知ってもらえたら…」などの意気込みや期待が語られました。



関前南小学校

新しい校長先生を迎えた初めての協議会であり、校長先生から、自己紹介や今年度の方針等について説明がありました。「関前場所」のような特色ある活動を大切にしつつ、教育活動として変えていくべきところは変えていきたいという力強い言葉がありました。

地域の委員からは、本校の子どもたちの素朴で人懐っこいというよさが語られるとともに、「『子どものために』という地域の方が多い。一方で高齢化がすすみ、今の行事がいつまで続けられるか…」などの危機感も語られました。また、「授業公開に父親の参加が増えているのは、働き方など社会全体が変わってきているのだろう」、「保護者の考え方も多様化してきているため考え方の違いがあり、どの意見を取り上げていけばよいのだろう？」などの声上がり、「だからこそ、協議が大切になるのではないか」との話も出ました。

